【公報種別】特許法第１７条の２の規定による補正の掲載
【部門区分】第７部門第３区分
【発行日】平成17年6月9日(2005.6.9)

【公開番号】特開2003-125035(P2003-125035A)
【公開日】平成15年4月25日(2003.4.25)
【出願番号】特願2001-319692(P2001-319692)
【国際特許分類第７版】
　Ｈ０４Ｍ　1/00
　Ｇ０６Ｆ　13/00
　Ｇ１０Ｈ　1/00
　Ｇ１０Ｋ　15/02
　Ｇ１０Ｋ　15/04
　Ｈ０４Ｂ　7/26
　Ｈ０４Ｍ　11/00
　Ｈ０４Ｑ　7/38
【ＦＩ】
　Ｈ０４Ｍ　1/00　　Ｒ
　Ｇ０６Ｆ　13/00　　６３０Ａ
　Ｇ１０Ｈ　1/00　　Ｚ
　Ｇ１０Ｋ　15/02
　Ｇ１０Ｋ　15/04　　３０２Ｆ
　Ｈ０４Ｍ　11/00　　３０２
　Ｈ０４Ｂ　7/26　　１０９Ｐ
　Ｈ０４Ｂ　7/26　　Ｍ

【手続補正書】
【提出日】平成16年8月20日(2004.8.20)
【手続補正１】
【補正対象書類名】明細書
【補正対象項目名】特許請求の範囲
【補正方法】変更
【補正の内容】
【特許請求の範囲】
【請求項１】
　通信手段を具備し、前記通信手段を介して有線または無線によって外部と通信を行う端末装置において、
　アラームを発生させるアラーム時刻および送信先を入力する入力手段と、
　前記アラーム時刻を前記通信手段を介して前記送信先へ送信する送信手段と、
　前記通信手段を介して受信したアラーム時刻を記憶すると共に、該アラーム時刻に達したか否かを検出する時計手段と、
　内部の記憶部に記憶された楽曲データに基づいて楽音信号を形成する楽音信号形成手段と、該楽音信号を発音するスピーカとを有し、前記時計手段が検出信号を出力した時、前記スピーカによって前記楽音信号を発音するアラーム発生手段と、
　を具備することを特徴とする通信端末装置。
【請求項２】
　前記送信手段は、前記アラーム時刻を電子メールとして送信することを特徴とする請求項１に記載の通信端末装置。
【請求項３】
　前記送信手段は前記アラーム時刻と共に楽曲データを送信し、前記楽音信号形成手段は

前記アラーム時刻と共に送信された楽曲データに基づいて楽音信号を形成することを特徴とする請求項１または請求項２に記載の通信端末装置。
【請求項４】
前記送信手段は、前記アラーム時刻と共にアラーム音種別情報を送信し、前記楽音信号形成手段は前記アラーム時刻と共に送信されたアラーム音種別情報に対応する楽音信号を形成することを特徴とする請求項１または請求項２に記載の通信端末装置。
【請求項５】
前記通信手段を介して外部のサーバから前記記憶部に楽曲データのダウンロードを受ける手段を具備することを特徴とする請求項１または請求項２に記載の通信端末装置。
【請求項６】
前記楽曲データは、予め指定された時間に、前記サーバから自動配信されることを特徴とする請求項５に記載の通信端末装置。
【請求項７】
他の情報端末装置をオンラインで接続する接続手段と、前記接続手段を介して他の情報端末装置からメロディデータの転送を受け、前記記憶部に書き込む書込手段とを有することを特徴とする請求項１または請求項２に記載の通信端末装置。
【手続補正２】
【補正対象書類名】明細書
【補正対象項目名】０００４
【補正方法】変更
【補正の内容】
【０００４】
【課題を解決するための手段】
この発明は上記の課題を解決するためになされたもので、請求項１に記載の発明は、通信手段を具備し、前記通信手段を介して有線または無線によって外部と通信を行う端末装置において、アラームを発生させるアラーム時刻および送信先を入力する入力手段と、前記アラーム時刻を前記通信手段を介して前記送信先へ送信する送信手段と、前記通信手段を介して受信したアラーム時刻を記憶すると共に、該アラーム時刻に達したか否かを検出する時計手段と、内部の記憶部に記憶された楽曲データに基づいて楽音信号を形成する楽音信号形成手段と、該楽音信号を発音するスピーカとを有し、前記時計手段が検出信号を出力した時、前記スピーカによって前記楽音信号を発音するアラーム発生手段とを具備することを特徴とする通信端末装置である。
【手続補正３】
【補正対象書類名】明細書
【補正対象項目名】０００５
【補正方法】変更
【補正の内容】
【０００５】
請求項２に記載の発明は、請求項１に記載の通信端末装置において、前記送信手段は、前記アラーム時刻を電子メールとして送信することを特徴とする。
請求項３に記載の発明は、請求項１または請求項２に記載の通信端末装置において、前記送信手段は前記アラーム時刻と共に楽曲データを送信し、前記楽音信号形成手段は前記アラーム時刻と共に送信された楽曲データに基づいて楽音信号を形成することを特徴とする。
【手続補正４】
【補正対象書類名】明細書
【補正対象項目名】０００６
【補正方法】変更
【補正の内容】
【０００６】

請求項４に記載の発明は、請求項１または請求項２に記載の通信端末装置において、前記送信手段は、前記アラーム時刻と共にアラーム音種別情報を送信し、前記楽音信号形成手段は前記アラーム時刻と共に送信されたアラーム音種別情報に対応する楽音信号を形成することを特徴とする。

請求項５に記載の発明は、請求項１または請求項２に記載の通信端末装置において、前記通信手段を介して外部のサーバから前記記憶部に楽曲データのダウンロードを受ける手段を具備することを特徴とする。

【手続補正５】
【補正対象書類名】明細書
【補正対象項目名】０００７
【補正方法】変更
【補正の内容】
【０００７】

請求項６に記載の発明は、請求項５に記載の通信端末装置において、前記楽曲データは、予め指定された時間に、前記サーバから自動配信されることを特徴とする。

請求項７に記載の発明は、請求項１または請求項２に記載の通信端末装置において、他の情報端末装置をオンラインで接続する接続手段と、前記接続手段を介して他の情報端末装置からメロディデータの転送を受け、前記記憶部に書き込む書込手段とを有することを特徴とする。

【手続補正６】
【補正対象書類名】明細書
【補正対象項目名】０００８
【補正方法】削除
【補正の内容】